

1947年2月12日廃墟にファッションの新しい風
荒れ果てたパリに突如エレガンスの風が舞い降りる
クリスチャン・ディオールのデビューである 戦後の殺伐とした女性服を一夜
にしてぬり替えた「ニュールック」の登場 パリコレ第一回コレクションは
ラインの時代の幕開け
デザインは「造形美」
ファッションは「エレガンス」が基本 その後世界のモードを先導した

「パリコレ」ファッションの変遷

その1 1890-1946 「波乱の時代」

2つの世界大戦 大恐慌など当時の社会情勢の中ファッションも大きく揺れ動き
変化を繰り返してゆく

1890年パリは世紀末の享樂的雰囲気漂いデカダンムードの中「ベルエポック」の幕開け
多くの文化風俗が現れた

1889年(明治23年)パリ万博を機に新しい表現形式 画期的美術運動が全ヨーロッパに広がり
をみせた「アールヌーボー」の到来 生活様式も大きく近代化へ動き始める 女性が自転車に
乗り スポーツをはじめることによってスポーツウエアもひろがった

「バウンススタイル」は姿を消してシルエットは曲線を強調した「Sカーブシルエット」が主流になり
明るく柔らかな色調がベースとなる

1890年にモード界の天才「ポールポアレ」が登場 ファッションは「スリムシルエット」に変化
コルセットから女性を解放したデザイナーである 当時ロシアバレエ団の影響で東洋志向の
「オリエンタリズム」がデザインソースとなる 「チュニックドレス」「ハーレムスカート」が現れた

第一次世界大戦(1914-1918)ヨーロッパのファッションが停滞する中 女性の職場進出
従軍看護婦などでファッションモードは機能的服中心 地味な「テラード服」が中心
1920年(大正9)「狂乱の時代」といわれ若く明るい時代 若い活動的モード ローウエスト
ボーイッシュスタイルショートカットヘアーが主流となった
「フラッパールック(おてんば娘)」といわれた

「ギャルソンスタイル」が流行 自動車 電話 テレビなどアメリカ中心の科学技術の進歩
生活の近代化でモダンな工業芸術 幾何学的デザイン「アールデコ」の時代が現れる

1924年(大正13)シャネル夫人はエルネストボーに香水創作を依頼 シャネル1-24の香りの
タイプで「No.5」を選定した のちの「シャネルNo.5」です

1930年(昭和5)ファッションは「スリム&ロング」の時代となる ジャンパトウのロングスカート
イブニングドレス ノーマルウエストが定着 スカート丈は短縮傾向をたどりシャネル
スキヤパレリ ニナリッチが活躍した時代です

その2 1947-1990「戦後ファッション」

第二次世界大戦以降 ファッション モードは女性服の近代化 実用的機能服へと大きく流れを変えた「**ボールドルック**」(ミリタリールックの類型)がアメリカから流入
ヨーロッパファッションはアメリカへその中心を移す
時代は明るく 未来 希望 自信の世界へ

この時期ファッションが大きく注目された時代です

1947年(昭和22)デオールの「**ニュールック**」がマスコミに注目され

大きなセンセーションをファッション界に与える シルエットはロマンチックで
「**ラインの時代**」を迎える

Aライン Yライン 8ライン が大成功 他にチューリップライン アローライン Hラインと
「**ライン全盛時代**」 ドロップショルダー 細いウエストボリューム感のフレアスカート 女らしさを表現した「**エレガンス**」がファッションの基調となる

1954年(昭和29)シャネルが閉店 香水専門店に 1955年(昭和30)Aラインが主流
1957年(昭和32)「**スピンドルライン**」でデオールのコレクションは終わり
サンローランへ引き継がれる

最初のコレクションはAラインに似たヤングジェネレーション向けの
「**トラペーズライン**」が評判 となる この頃ヤングのアンチパワー爆発 高度成長と
新しい価値観へと時代は大きく変わる ジバンシー バレンシアガが活躍する

1965年(昭和40)アンドレ・クレージュの「**ミニスカート**」登場 若者ジャーナリズムの話題
となる

この時期「**プレタ全盛期**」ファッションはカジュアル化「**チュニックルック**」「**ペザントルック**」
「**ジプシールック**」とルック氾濫の時代

1970年(昭和45)高度成長時代 物質万能志向から自然 人間らしさ
シンプルライフと「**自然回帰**」へとファッションは向かう 40年代はクラシック
ベーシックと カーボーイルック サファリルック ホットパンツと
ファッションは二極化する

この頃に**ケンゾー**の「**ビッグルック**」「**フォークロアルック**」 **イッセー**の「**スポーティブルック**」
が注目されて ヨーロッパの構築的服作りから平面的非構築的スタイルの「**デコンストラクテ**」
を主張した日本人のデザイナーが注目される

1978年(昭和53)には**クロードモンタナ**が登場 構築的スタイルが復活 女性の社会的
地位向上 キャリアウーマン服がスポットあびて ニューヨークファッションが台頭

1980年(昭和55)ファッションはカジュアル クラシックと**多様化の時代**

「**インベストメントクロージング**」 **スポーティブ**と変化を繰り返します

ジャパネスク オリエンタリズムも時代とともにクローズアップされパリコレに反映さ
れています **川久保怜**の**コムデギャルソン** **山本耀司**の**ワイズ**など

日本人のデザイナーが注目されます

この頃**アバンギャルト** (破壊的デザイン)も出始めます

ジャンポールゴルチエが登場ファッションはモダン化が進みます

1986年(昭和61) ロメオジリ クリスチャンラクロアなどファッションは
装飾的スタイリング化の傾向
情報過多時代を反映して ファッションも広く多様化の波に乗り
保守と革新を繰り返しながら進化しています

フランス香水の流れ

- 1912年(大1)「黒水仙」キャロン
- 16年(大5)「ミツコ」ゲラン
- 22年(大11)「クリスマス之夜」キャロン
- 25年(大14)「シャネルNo.5」シャネル
- 26年(昭和1)「シャネルNo.22」
- 27年(昭和2)「アルページュ」ランバン
- 31年(昭和6)「タブー」ダナ
- 35年(昭和10)「ジョイ」ジャンパトウ
- 々(昭和10)「石の花」キャロン
- 48年(昭和23)「レールドタン」ニナリッチ
- 56年(昭和31)「ディオレッシモ」ディオール
- 58年(昭和33)「カボシャール」グレー
- 60年(昭和35)「マダムロシャス」ロシャス
- 61年(昭和36)「キャレーシュ」エルメス
- 62年(昭和37)「バラベルサイユ」
- 66年(昭和41)「フィジー」ギラロッシュ
- 70年(昭和45)「アンフィニ」キャロン
- 々(々)「リブゴージュ」サンローラン
- 1971年(昭和46)「シャネル19」シャネル
- 々(々)「ジバンシーⅢ」ジバンシー
- 1971 「ホットパンツ」流行
- 74 「デコンとラクテ」ファッション
- 75 チープ シックブーム レイヤード
エスニック
- 78 「ニューヨークファッション」台頭
- 80 「プレッピールック」流行
- 81 「インベストメントクロージング
- 82 コムデギャルソン 破壊ルック
- 1986 レトロファッション流行
- ボディコンシャス

パリコレファッションの流れ

- 1870-1890 バッスルスタイル全盛
- 82 スポーツスタイル流行
- 89 パリ万博
- 90 アールヌーボー運動
曲線は「Sカーブシルエット」登場
- 1892 ウォーグ誌 創刊
- 1910 「ベルエポック」最盛期
- 11 オートクチュール組合設立
- 12 オリエンタリズム全盛
- 20 シャネル メゾン開設
- 22 フラッパースタイル流行
- 24 シャネル シュミーズドレス流行
- 25 「アールデコ」展開催
- 29 パトウのロングドレス流行
シャネル プレタ開始
- 30-38 スリム&ロング全盛
- 32 ニナリッチ メゾン開設
- 34 グレ メゾン開設
- 36 デュポン ナイロン開発
- 37 ジバンシー バレンシアガ メゾン開設
- 39シャネル 閉店
- 45 バルマン メゾン開設
- 47-57 「ラインの時代」
ディオールの「ニュールック」大成功
- 53 「チューリップライン」
- 54 シャネル復活
- 57 ギラロッシュ メゾン開設 サンローラン デイオールへ
- 58 サンローラン 「トラペーズライン」発表
- 61 マリークワント 「ミニスカート」発表
- 63ヤングファッション台頭
- 65 「プレタ全盛期」
クレージュ 幾何学ライン 「ミニ」発表
ウンガロ メゾン開設
- 67 「ミニ」全盛 ピッピー ツイッギー旋風
- 68 パンタロン流行
- 69 ウーマンリブ台頭
- 1970 ミディー マキシスカート流行
「ケンゾー」メゾン開設

